

こんなことが気になったら・・・

財産管理や手続きのこと

支払いや手続きが上手くできなくなったなあ・・・

「ひとり暮らしの親が認知症になり、必要のない契約をして困っている」「子どもがいないため老後の財産管理や入院時などの手続きが心配」などの不安や困りごとの相談に応じます。

本人に代わり手続きを行う「成年後見制度」について住民向けの講座を開催するなど、社会福祉協議会や専門職と協力し、制度を利用しやすい体制を整えています。



健康のこと

家にいる時間が増えて、転んだりしないか、不安・・・

いつまでも元気に過ごせるよう、にこにこサロンや筋力トレーニング教室の開催、各行政区のおたっしゃ会活動の支援など介護予防に取り組んでいます。



金井 清さん
(小幡・87歳)

何でも食べ、よく運動をして、サロンや筋トレ教室でいろいろな人と話をするのが楽しいです。

小さな子どもたちの笑い声が一番の栄養。元気なうちは子どもたちとの関わりも持ち続けたい。

家族や近所の高齢者のこと

ひとりで生活しているけど、高齢なのでなんだか心配・・・

見守りや安否確認を兼ねた「在宅給食サービス」は、ひとり暮らしや高齢夫婦世帯に週1～2回お弁当を配達します。

老人クラブが行っている「ひとり暮らし見守り事業」では、ひとり暮らしの人へ声掛けや安否確認を行います。



(国峰・70歳)

自分ではほとんど調理をしないので、助かっています。バランス良くおかずが入っているのでありがたいです。貴重だと思います。

これからの自分のこと

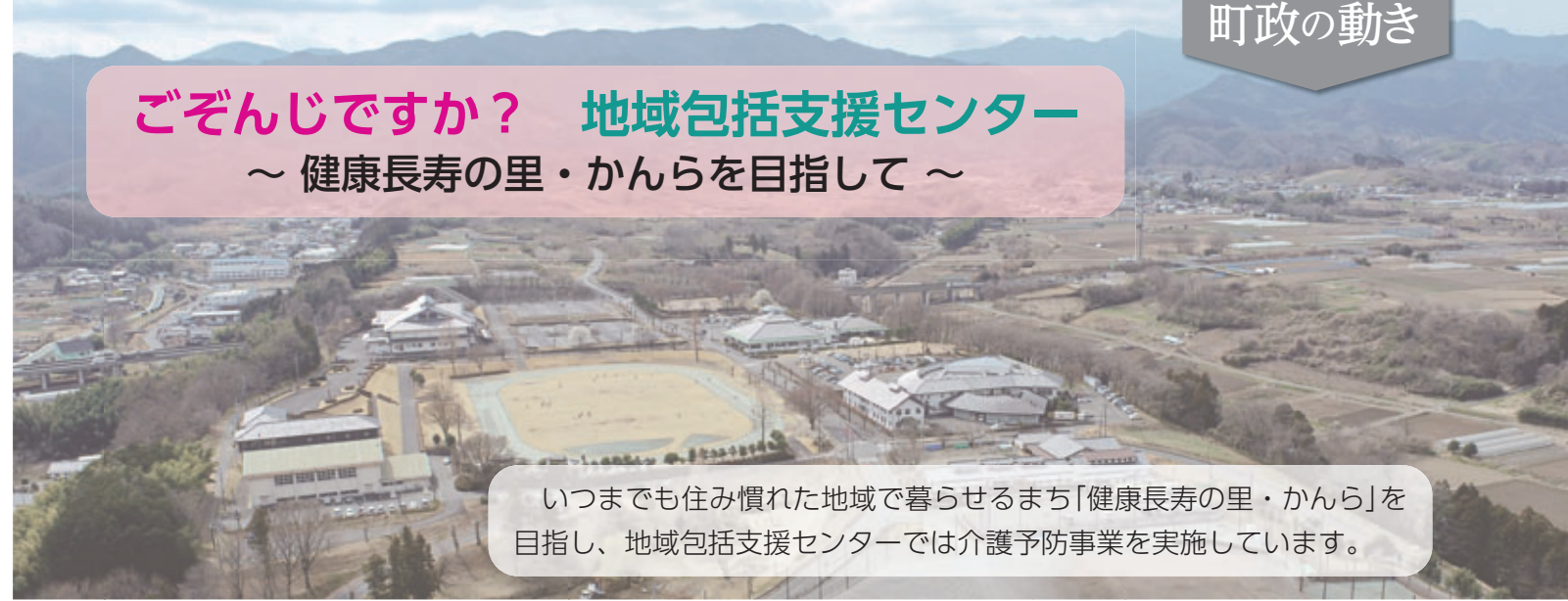
長年参加していたグラウンドゴルフが大変になり、包括支援センターに相談したところミニデイサービスの利用を開始しました。今では週1回のミニデイサービスが楽しく、生きがいになっています。

包括支援センターには何でも気軽に相談できるので、困りごとがある時に話を聞いてもらえて心強いです。



堀口 伊十郎さん
(白倉・92歳)

ごぞんじですか？ 地域包括支援センター
～健康長寿の里・かんらを目指して～



いつまでも住み慣れた地域で暮らせるまち「健康長寿の里・かんら」を目指し、地域包括支援センターでは介護予防事業を実施しています。

甘楽町地域包括支援センター



にこにこ甘楽内にあります

介護サービスや保健福祉サービス、そのほかの日常生活支援などをさまざまな機関と連携し支援を行います。

「介護や福祉、医療に関する身近な悩みについて、どこに相談してよいか分からない」というときに、最初の窓口として相談業務(電話や来所、訪問)を行っています。

センターでは、専門知識を持つ主任ケアマネジャーや保健師などが中心となり高齢者の支援を行っています。それぞれ「チーム」として互いに連携をとりながら高齢者の抱えている問題を解決するため総合的に高齢者を支えます。

介護保険のこと

介護保険サービスを利用するには、どうすればいい？

町内に住所があれば、福祉課介護保険係(にこにこ甘楽内)で申請ができます。

本人や家族が申請に来られない場合、地域包括支援センター職員が代行申請の手続きをすることができます。

※介護保険サービスが利用できるのは原則65歳以上の人です。40歳～64歳の人で16種類の特定疾病に該当する場合もサービスを利用することができます。

介護や生活の困りごとなど
気軽にご相談ください！



問い合わせは・・・

甘楽町地域包括支援センター(にこにこ甘楽内：甘楽町大字白倉1395-1)
☎67-5182(平日：午前8時30分～午後5時15分) FAX 67-7066

